

令和4年度第1回 西宮市健康増進計画・食育推進計画推進会議 議事要旨

日 時：令和4年7月22日（金）午後2時～3時30分

場 所：西宮市商工会館1階 地域経済交流センター会議室

出席者：朝倉利加子、石飛弥生、川上まゆみ、川崎史寛、岸本三香子、齋田久子、澤田朗、白石雅照、高尾一人、内藤義彦、林宏一（敬称略、五十音順）

（事務局）

町田健康福祉局長、福田保健所長、園田保健所副所長

国民健康保険課 駕海課長、河内係長 学校給食課 柏木課長、大北副主査

学校保健安全課 牧係長 美化企画課 藪内課長 農政課 上野課長

保育所事業課 堤下参事 食肉衛生検査所 梅田所長 食品衛生課 松本課長、角井栄養士

地域保健課 中東担当課長、高槻係長、樋口係長

健康増進課 反田課長、川崎担当課長、向井係長、永嶋係長、安土栄養士、福永歯科衛生士、北原保健師、吉本保健師

ジャパンインターナショナル総合研究所（ジャパン総研） 宮川

【資料】

議事次第

資料1 「新・にしのみや健康づくり21（第2次）西宮市健康増進計画≪中間見直し版≫
活動指標評価シート

資料2 「西宮市食育・食の安全安心推進計画」活動指標評価シート

資料3 西宮市健康増進計画、食育推進計画 策定概要

資料4 西宮市健康増進計画、食育推進計画 調査概要

資料5 健康づくり市民アンケート調査票(案)

資料6 食に関する市民アンケート調査票(案)

資料7 食生活アンケート【学童】(案)

資料8 食生活アンケート【幼児】(案)

資料9 西宮市健康増進計画・食育推進計画スケジュール

1. 開 会

坪内委員、山内委員欠席。

出席委員11名、欠席委員2名につき会議の成立の確認。

傍聴者 兵庫県立総合衛生学院学生4名。

健康福祉局長よりあいさつ。

2. 議 事

- (1) 西宮市健康増進計画・食育推進計画の策定趣旨について
事務局より、資料1～3について説明。

<ご意見>

A 委員：今回、計画の位置づけ（P7）として西宮市総合計画の下に西宮市健康増進計画と西宮市食育推進計画があり、その横に西宮市自殺対策計画（仮称）もある。リード文中に「各種計画との整合を図りながら、市の健康増進・食育推進施策を展開していくための計画」とあるが、自殺対策計画と健康増進計画・食育推進計画との整合性をどのように図るのか説明していただきたい。

事務局：現在、健康増進計画において7つの分野に分けて施策を推進しており、その中の「こころの健康」という分野の施策「自殺対策の充実」を取組の柱にしている。この部分と整合性を図りながら包括的な自殺対策の計画を策定していきたいと考えている。

委員長：この自殺対策計画というのは別に策定しなければならないのか。今までの健康増進計画の中にあつたストレスやこころの問題と被っている部分があると解釈してよろしいか。

事務局：自殺対策計画についてはこころの健康という健康面に加え、自殺ということにフォーカスした自殺予防に特化した計画にしようと思つている。当然こころの健康というのは、一般市民のみならずにとつても大切なテーマであるため、健康増進計画と同じような形で整合性を図っていきたいと考えている。

委員長：健康づくりはこころだけの問題ではなく環境、経済力等の社会的要因も含めてのものになる。

（2）アンケート調査票について

①健康増進計画改定のためのアンケート調査票

②食育・食の安全安心推進計画改定のためのアンケート調査票

③食生活アンケート調査票（学校・園）

事務局より、資料4～8について説明。

<ご意見>

①健康増進計画改定のためのアンケート調査票（資料5）に関して

A 委員：西宮市自殺対策計画策定のためのアンケートでもあり、こころの健康に関する設問も入っている。それにしても設問が多種多様だ。問7で家族構成、問9で健康診断、問10でがん検診、問14で歯科健診、問22でこころの状態について聞いており、話がころころと変わっている。設問の前に“～についておたずねします”のような感じで大きな項目として立てておいてはどうか。問24では自殺について聞いているが自殺願望の有無を知りたいわけではないし、いきなりこのような設問では回答者が戸惑うので“こころの健康についておたずねします”のように大きな枠をつくってから聞いた方がよい。このままでは回収率も非常に低くなると思う。できるだけ回答者が答えやすいような形での作成を望む。資料6の食育に関するアンケートはまとまりがあるが、この資料5にはこころの健康についての設問が入っている分、散漫な感じを受ける。“健康”“飲酒”“たばこ”等の各カテゴリーをつくることを今後検討していただければと思う。問42「コロナ禍における生活の中で何が増えましたか」に対して「ストレス」「経済的な不安」「体重」「飲酒」「喫煙」「インターネットでの買物」とあるが、かなり無茶な項目で同じ範ちゅうに入っていることに疑問を覚える。カテゴリーをもう少しつくってあげないことには回答者が混乱すると思った。

事務局：回答しやすいカテゴリー分け等の非常に参考になるご意見をいただいたので工夫したい。

委員長：健康増進計画と自殺対策計画に関するアンケート調査を同時に行うことが効率的なのは分かるが、ずいぶん内容が違う感じを受ける。例えば自殺対策計画に関連する設問を後半に

まとめ、前半に健康増進計画に関する設問を持ってくるようにすれば見やすくなるかと思う。問 42 だが、コロナ禍で増えるものばかりではない。運動時間は減っている人も多いだろう。生活習慣の変化について聞いてみるのもよいかと思う。

副委員長：問 43 で急に医療機関や歯科へ受診しているかと聞いている。歯科は歯科健診の設問の中に入れた方が歯科のイメージが明瞭になってよいかと思う。医科に関してはどこに入ればよいのか難しいところではあるが、最後に聞くのは唐突な印象を受けるので考え直してほしい。

B 委員：問 39 でフレイルを知っているかと聞いているが、歯科医としてはオーラルフレイルにも注目しているので、それを知っているかどうかについても聞いてもらいたい。問 43 で歯科がクローズアップされているが、もう少しひねっていただいた方がよいかと思った。

C 委員：たばこやアルコールがクローズアップされがちだが、サプリメントやエナジードリンクを多用している問題もあり、それがゲートウェイドラッグのような感じにもなっているので、その辺りもアンケートで調べていただければと思う。

委員長：それは健康増進と食育のどちらで尋ねればよいか。

C 委員：薬物乱用、依存という意味では健康増進になるかと思うが、両方で調べてほしい。

委員長：このアンケート自体は住民に協力をお願いするわけだが、自治体によって最近ではポイント等のインセンティブをフィードバックすることもある。西宮市としてはそういうことは考えていないのか。特に若い人は二次元コードを読み取って回答するのでポイントを与えやすいのではないかと思う。

事務局：本市では自治体ポイントというものも採用していない。今回の調査では、二次元コードを用いて Web アンケートで回答しやすい環境をつくることで、回収率の向上に努めたい。

委員長：二次元コードを読み取っての回答による個人情報漏洩の心配はないか。

ジャパン総研：二次元コードについては個人情報保護というところでアクセスした個人を特定できないようセキュリティをかけている。ただ、同一アドレスからの回答かどうかということだけはチェックできるような体制で進めているので、その点報告しておく。

委員長：同一アドレスかどうかはどのようにして分かるのか。

ジャパン総研：最終的なチェックを行う際、同一アドレスからの回答があれば、分かるような形になる。同じ人が複数回送っているかどうかのチェックができるようになっている。

委員長：二次元コードを読み取っての Web 調査というのは便利だが、問題が起こらないようデータ管理をしっかり行う必要がある。問 26 のゲートキーパーや問 39 のフレイルを知っているかと尋ねたあとに説明が載っている。もし、この説明を先に読んでしまった場合、本当は知らなくても「知っている」に○をつけるという回答のバイアスがかかるのではないかと思うが、その辺りいかがか。

ジャパン総研：そのような可能性はゼロではないと思うが、これまで行った他市の調査では、たとえ先に読んでしまっても正直に「知らない」とご回答いただいているという印象がある。

委員長：調査結果に基づいて行政の課題を見つけていくわけで、このアンケートは施策に反映できるようなものでなければならない。そういう意味で研究のためのアンケートとは性質が異なる。市民委員の方から見て、このアンケートに協力できそうか。

D 委員：どれだけ回答が返ってくるのか、あまり返ってこないのではないかと思う。

E 委員：本当に設問が多すぎて最後にたどり着くまでに疲れてしまうと思う。Web 調査では、例えば

「健康」「歯」「自殺」などの項目別に分け、興味のあるところから回答できるよう工夫する方がよいのではないか。

②食育・食の安全安心推進計画改定のためのアンケート調査票（資料6）に関して

委員長：最後の設問に「西宮らしい食育のためのご意見やご要望」とある。健康増進計画のアンケートでは最後の設問として「誰もが健康で住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望」とあるが、これと比べて非常に曖昧な感じを受ける。西宮の食育として現行でこういうことを実施していると示し、それに対しての意見を書いてもらう方がよいのではないか。「西宮らしい食育」というものを考え出すと難しくなってしまう。“今は西宮としてこういう食育を進めています、新しい食育としてはどのようなものが考えられますか”などの設問の方がよいというのが私の意見だ。

F委員：食事の回数だけでなく時間帯も回答してもらおう方がよいと思う。夜間の食事は色々と問題があるからだ。寝る何時間前に食事を済ませているかということも把握できればと思う。

D委員：国が出している「食事バランスガイド」が分かりやすい。あの図を見て食事すると本当にバランスが取れる。ただ、みなさんにあまり浸透していないのが気になっており残念でもある。周知のためにも、この調査票に“国の「食事バランスガイド」を知っていますか”という設問を入れてほしいと思う。

副委員長：問29はコロナ拡大前と比べて食生活がどう変化したかという設問だが、当事者の主観だけのことだ。問30のように具体的に尋ね、それを自分と照らし合わせて良い・悪いという判断をする方が結果としてある一定の資料になるかと思うので、問29はなくてもよいと感じた。

事務局：貴重なご意見をいただき感謝している。いただいたご意見についてしっかりと考えて、より良いものにしていきたいと思う。

委員長：いろいろな意見があつて大変だとは思いますが、よろしく願います。

③食生活アンケート調査票（学校・園）（資料7.8）に関して

意見なし。

委員長：今日の意見を踏まえアンケートの修正を行う必要があるが、修正について再度会議を開いて協議することは難しいので事務局と調整し、決定したい。委員長一任という形よろしいか。

各委員：異議なし。

委員長：委員長一任ということでよろしく願います。

（3）西宮市健康増進計画・食育推進計画策定のスケジュールについて

事務局より、資料9について説明。

3. 健康増進課の新規体制・取組について

事務局より、「西宮健康ポイント」「西宮いきいき体操」及び「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（フレイル対策事業）」について説明。

4. 閉 会